

大宮の鉄道博物館見学記



これほどまでに「天気予報」が見事に的中したことは滅多にない今日、「真冬並みの寒さ」が肌に沁みるＪＲ・大宮駅のコンコースで、待ち合わせ場所の「豆の木」に、１０：３０ a m・寸分違わず参加希望者１３名全員が揃うなんて、予測もできないことが起こり、更には、体調がイマイチで、待ち合わせ場所にお顔を出して帰られた律儀な方も居られ、「始め良ければ、終わり良し！」と、本日のスケジュールはこなせるなどの思いが湧いてきました。

「汽笛一声新橋を、はやわが列車は離れたり」に郷愁を感じている人はたくさんおり、「新しくリニューアルされた博物館」は、流石に「見どころ」もいっぱいあり、若い人が「お子さん連れて一日楽しめる」とのキャッチフレーズも間違いのないと思ひ、「ミニ運転列車」や「シミュレータ」で鉄道車両の疑似運転体験をしよう！日本最大級の鉄道ジオラマは必見で、通常は一時間待ちとのことでしたが、すんなりと入館出来ました。

ガイドさんは、齢（よわい）８０歳にして、平家の落人で、新潟県出身の顔つやも頗るよく、もと国鉄ＯＢマンで、我々を笑いの渦に巻き込み、ユーモア溢れる説明ぶりは、一時間にも及び、明治、大正、昭和の天皇がお乗りになった「御料車」の座席に座り、室内の豪華さにも驚嘆し、最近、「国の文化財」に指定された車両内にも立ち入ることができるなど、「大人の休日」を皆さんが共有できたことは大きな収穫でした。

帰途は恒例の「ファミリーレストランコース」ですが、誰おひとりと、帰るとおっしゃられず、全員で「楽しかった！良かった！」と言ってくださり、前日から風邪気味の私も、すっかり元気を取り戻し、皆さんの気遣いに感謝！感謝！で、ホッとした見学会でした。

みなさん、お疲れさまでした！ 懲りずに次回のプランなどにもご参加をお願いします。